

# 南連協総会（2025-07-02）議事録

---

日時：2025-07-02 10:30～12:00

場所：ユニコムプラザ セミナールーム 1

参加者：別紙

以下、棚橋さんがAIにて詳細議事録を挙げて下さり、本部事務局の村田が若干修正し、議事録としました。

## 概要

本資料は、**2025年7月2日**時点で開催された総会の中での活動報告・今後の計画をまとめたものです。法人の目的や理念、役員体制、会員数の推移、研修・イベント計画、各部会（こども部会・おとな部会）の活動報告と今後の予定、事務連絡、“**NPO 法人ぴあっと**”の地域特化型情報サイト「みかた」の運営状況 & 南連協への協力依頼など、多岐にわたる内容を網羅しています。

## 1：総会の成立と法人の目的・理念（by 坂本会長）

1. 出席者および委任状を合わせて、71事業所中51事業所が申告し、半数以上の出席が確認されたため、総会が成立したことを報告。
2. 法人の目的は「相模原市南区と近隣市に居住する障害のある児童、成人とその家族の人権尊重・権利擁護」を理念とし、関係事業所が地域ニーズの開拓や調査、福祉サービスの必要性をチームワーク理論のもと連携し、地域課題の解決を図ること。

- 一般社団法人として、賛同する事業所・会社が会員となり、会費は毎年 1,000 円。
  - 「人権尊重・権利擁護」は絶対に揺るがない共通理念とし、それ以外の理念は各法人・事業所ごとに自由。
- 

## 2：役員体制と部会活動（by 坂本会長）

- こども部会
    - 会長：株式会社ストルク タイニーボックスあさひ 田島智子氏
    - 副会長：NPO 法人ワンステップワンステップスマイル相模原教室 立川氏
    - 事務局：株式会社くらゼミ 子どもサポート教室きらり大沼校 原田氏（前会長、2 年間会長を務め、今後は事務局としてサポート）
  - おとな部会
    - 会長：株式会社イエローズ 横内氏（立ち上げ時から暫定的に会長を担当）
    - 副会長兼事務局：障がい総合支援ひかり 棚橋氏（主に児童担当だが大人部会もサポート）
  - 部会名の統一
    - チラシや説明会等での部会名表記は「ひらがな」で「こども部会」「おとな部会」に統一することを周知。
  - 会長の改選期であったが、立候補者がいなかったため、現会長（坂本桃子氏）が引き続き会長を務めることに全会一致で了承。
    - 会の副会長は現在空席。会長の健康状態を考慮して、今後数ヶ月で候補者に打診し、了承が得られた場合は予備的に副会長としておき、現会長が継続困難となった場合は繰り上げて会長に就任する体制を了承。
- 

## 3：会員数・事業所数（by 本部事務局）

- 2023 年度末（前年度）会員数：59
  - 2024 年 6 月末時点会員数：71 事業所（アカウント数ベース。1 人で複数事業所を運営して、事業所毎に会費を納入している場合は各事業所ごとにカウント。例：横内氏は 4 事業所で 4 票分の投票権）
    - こども部会：46 事業所（新会員 4 事業所、廃業 2 事業所含む）
    - おとな部会：25 事業所（相談事業 5 含む、新会員 9 事業所）
-

## 4：研修・イベント計画 (by 本部事務局)

1. 2024 年度は坂本氏の体調不良により開催が難しかったが、中舘氏の「アンガーマネジメント研修」を実施。
    - 講師：まるさき福社会 理事長 中舘氏（ボランティアで実施。通常は高額な研修費がかかるが、身内の専門家による貴重な機会となった）
  - 次年度は「ハラスメント講座（中舘氏）」を実施予定。
  - 今後はアンガーマネジメントとハラスメント講座を交互に開催する方針。
  - 赤十字応急救護研修（新規）
    - 2025 年 2 月頃、清水さんの紹介で事業所内の専門家による AID（自動体外式除細動器）等の研修を予定
    - 赤十字の規定が厳しく、講座取得や内容申告が必要
    - 参加を広く呼びかけたい
  - 追加研修や企画の提案を随時受付
- 

## 5：こども部会・おとな部会の活動報告と今後の予定

### 1. こども部会 (by 田嶋部会長)

1. 令和 7 年度の子ども部会長に田嶋氏が拝命
2. 「子どもたちの今とこれからを何ができるかを考えて支え合いながら前向きに活動を進めたい」との意向が示された。
3. 令和 6 年度の活動報告
  - 南大野小学校の駐車場問題について協議し、各事業者に情報を行き渡らせた。
  - 12 月、支援学校・高校生のスクールバス利用要望書を神奈川県教育委員会に提出し、4 月に教育委員長から文書で回答を受領。
  - 2 月には実地指導に関する情報共有や市の支援方針の確認、中央区協議会との情報共有を実施。
  - 放課後等デイサービスの説明会を開催。
    - 7 月の説明会には保護者 54 名が参加。
    - 10 月の説明会には 15 事業者が説明を行い、保護者 46 名が参加。
- 令和 7 年度（今年度）の活動予定

- 5月より新体制でスタート。
- 6月5日に第1回こども部会総会を開催し、今年度の合同説明会の概要等を共有。
- 9月には合同説明会に関する説明とパンフレット封入作業を実施予定。
- 10月14日（火）に合同説明会を開催予定。市との共同事業であり、各事業者の参加を呼びかけ。
- 12月には合同説明会の振り返り・反省会を実施し、各事業所から意見を収集予定。
- 年明け2月には情報交換を目的とした会合を予定。

## 2. おとな部会 （by 横内部会長）

1. おとな部会は赤名さん、大塚さん、横内さんの3名でスタートし、徐々に多くの参加者が集まるようになった。
2. 児童から成人への移行期におけるサービスの多様性や困りごとを受け、事業者による説明会を企画。
3. 成人サービス説明会の実施と振り返り
  - 第1回（2024/11月）成人サービス説明会を開催。参加者は多くなかったが、アンケートでは好評。
    - 準備不足や発信力の課題が明らかになり、第2回に向けて改善。
  - 第2回説明会（2025/6月）では、成人サービス制度や手帳の取得方法、区分の説明を追加し、生活介護・グループホーム等の事業種別に事例紹介を実施。
    - 相談ブースを設け、親御さんや当事者が直接事業者に質問できる場を提供。
    - アンケート回収率は低かったが、「今後も継続してほしい」との声が多かった。
    - チラシ配布や SNS 活用、支援学校へのチラシ設置により、参加者数が前回の約7倍に増加。
    - この第2回説明会には50名以上が参加し、事業所やおとな部会メンバーの協力で周知が広がった。
  - 課題と今後の改善点
    - 当事者が楽しめる内容や配慮が不足していた点を反省し、今後の改善点として認識。
    - 研修やマネジメント研修の実施も進めており、今後も広げていきたい。
4. 次年度計画とイベント参加
  - 副部長兼事務局に棚橋さんを迎え、より良い活動を目指す。
  - 成人サービス説明会の継続と内容のブラッシュアップを検討。

- キャッチフレーズ「悩みなんて吹っ飛ばせ」を掲げ、参加者の悩み解消を目指す。
  - 4月2日に開催された「発達凸凹さんフェスタ」にもおとな部会メンバーが多数協力。
    - 今年はユニコムプラザ全体を借り切れなかったが、2026年は全館借り切り予定。
    - 今年の来場者は約 800 人。
    - 今後も説明会や相談ブースでの参加を検討。
  - おとな部会・こども部会の垣根を越えた協力体制ができていることに感謝の意が示された。
  - 会議の最後に記念写真撮影を提案し、参加者の一体感を高める場面があった。
- 

## 6：活動収支報告および予算計画 (by 本部事務局)

### 2024 年 期活動収支報告

#### 1. 会費収入

- 予算：6 万円（60 事業所を想定、やや少なめに設定）
- 実績：7 万 5,882 円（事業所参加数増加、前年分繰越・未払い分の振込増加による）
- 寄付金
  - 発達凸凹さんより 1 万 9,846 円の寄付
- 助成金
  - 申請できず、収入合計は 9 万 5,728 円
- 通信費
  - 予算：5 万円
  - 実績：郵送を廃止し、電子メール・FAX 活用で郵送代ゼロ、5 万円の節約
- 消耗品費
  - 支出なし
- 研修費（謝礼）
  - アンガーマネジメント研修は中館さんのボランティアで実施（通常 2～30 万円かかるがゼロで実施）
- 会場費
  - 実績：4 万 780 円（予算 5 万円内で収まる）
  - 南保健センターは無料、本会場は高額だが利便性重視
- 合計
  - 増減：5 万 4,948 円（残高：2 万 1,630 円（計画値））

- 前期繰越：2万1,634円
- 合計繰越金：7万6,5682円（余剰金として保有）

## 2025 年 期活動予算計画

1. 正会員会費：6万円（やや少なめに見積もり）
  2. 人件費：ゼロ
  3. 通信費：1万5,000円（メール・FAX 中心で節約予定）
  4. 会場費：5万円
  5. 予算上はプラマイゼロを見込むが、実際には会費収入増加で余剰が見込まれる
  6. 前期繰越：7万6,582円
  7. 会計監査：富原さんが銀行振込履歴等を確認済み
- 

## 7：南連協活動の端的な紹介リーフレット（by 棚橋さん）

1. 南連協の活動内容を簡単にまとめた資料を作成し、今後も毎年更新予定
    - 事業所での活用や説明用に配布
  - 部会間の交流の重要性
    - こども部会・おとな部会の垣根を越えた参加を推奨
    - 子ども部会メンバーがおとな部会に参加することで、卒業後の不安解消や新たな気づきが得られる
    - おとな部会側もこども部会のニーズを知る機会となる
    - 交流の機会を今後も設けていきたいとの意見
- 

## 8：事務連絡（by 本部事務局）

### 入会申請

1. 毎年、総会案内書に入会申請書を添付。ホームページにも掲載
2. 7月末を目途に提出を依頼
3. 事業会社名（親会社）と事業所名（自事業所）の区別を明確に記載
  - 2事業所登録の場合は2枚提出（2アカウント・会費2,000円）
  - 1枚で2事業所記載も可（同一事業の場合、1アカウント・会費1,000円）
- 事業内容欄は該当細目項目に丸印を記入（例：居宅介護、重度訪問介護、同行援護等）

### 会費振込

1. 年会費：1,000 円（昨年同様）
  2. 振込先：横浜銀行（詳細は開催通知に添付）
  3. 7 月 31 日までの振込を推奨
  4. 振込手数料は各自負担
  5. 銀行振込導入により会計トラブルなし、前年繰越金も全て回収済み
- 

## NPO 法人ぴあっとの活動紹介と協力依頼

1. NPO 法人ぴあっと（理事長：五十嵐さん）の活動紹介
    - 団体紹介チラシと資料を配布
    - 五十嵐さん自身、2 人の子供（下の子：最重度知的障害・自閉症、小学部 4 年生／上の子：中学 1 年生、診断なしだが感覚特性強い）の子育て経験を共有
    - 子育ての困難や孤独感、支援の必要性について実体験を交えて説明
  - 今後、協力依頼事項がある旨を説明
- 

## 地域特化型情報サイト「みかた」運営

### 法人設立の背景と活動内容

1. 設立の経緯・目的
  - 療育に関する情報が非常に少なく、家族同士のつながりも希薄で、孤独な子育てを実感したことから、「自分にできることはないか」と考え、2023 年度に法人を設立。現在 3 年目。
  - 「団体初期から南連協の協力を受けており、情報発信やアンケート調査の協力に感謝している」との発言あり。
- 主な活動内容
  - ご家族向けのお話会や講座の開催。
  - 地域特化型の情報サイト運営（後述）。
  - 小学校の通常学級児童向けに、感覚特性など目に見えない特性の理解を促す出前授業の実施。
  - アンケート調査を実施し、市の教育委員会へ提出。
  - 主な対象は幼児と学齢期の子どもおよびその家族。

### サイトの運営と機能

1. サイトの概要と目的
  - 相模原地域に特化した子どもの発達支援情報サイト「みかた」を運営。運営開始からもうすぐ 2 年。

- 「情報格差の解消」「家族の選択肢拡大」「同じような子育てをしている人がいることの可視化」を目的としている。
- これまでに **200** 回以上情報を更新。
- 月間 **1,800** 名程度の閲覧者がいる。
- 現行機能
  - 福祉事業所のマップ検索機能を提供。
    - 相模原市内の全事業所を公的情報から掲載。
    - 施設情報の種類ごと、緑区・中央区・南区など区ごとの検索が可能。
    - 住所入力による近隣事業所の検索機能。
    - 施設名や区名での絞り込み検索も可能。
  - 家族目線でのデザイン・機能設計を重視。
- 今後の機能拡張計画
  - 事業所ごとの詳細ページ作成を予定。
    - 施設写真、プログラム内容（運動・音楽など）でのタグ検索機能。
    - 事業所のホームページや Instagram 等 SNS へのリンク設置。
    - 事業所側からの特徴やメッセージ記載欄を設け、利用者が一斉に比較できるようにする。
  - サンプル作成は 8 月中、9 月以降に事業所へ協力依頼の連絡予定。
    - 連絡方法は電話またはメール、情報入力フォーマットは Excel または Google フォームを検討中。
  - 基本情報の掲載料は無料。
    - 空き情報や利用者募集広告など一部有料オプションも検討。
  - 10 月下旬リリース、市内全域への広報活動を予定。

## 連携・コラボレーションの提案

1. 放課後等デイサービス合同説明会で配布する事業所情報一覧表に「みかた」へのショートカットを設けることで、情報へのアクセス性向上が期待される。
2. 一覧表にホームページの QR コードを設ける案も過去に議論されたが、「みかた」へのリンクで全ての情報が一元的に見られるメリットが強調された。
3. 相互コラボレーションの可能性についても言及。

---

## 写真撮影と集合



1. 集合写真の撮影が行われ、参加者全員が映るように調整された。
    - 「みんなで映りましょう」「お母さんも」「マスク取って」「いい笑顔で」など、和やかな雰囲気で行進。
    - 撮影時の細かな指示や交代もあり、複数回撮影が行われた。
- 

## アクションアイテム

[1] 会の副会長候補者に打診し、了承が得られた場合は副会長として任命する準備を進める

[2] 7月31日までに入会申請書を事務局へ提出

[3] 7月31日までに年会費 1,000 円を指定口座へ振込

[4] 9月以降、発達支援情報サイト「みかた」への情報提供のための事業所への電話またはメールで連絡し、情報入力フォーマット（Excel または Google フォーム）を送付するので会員の皆さんの協力が必要。

[5] 10月下旬に「みかた」新機能をリリースし、市内全域に広報活動を行う